



HFSP 説明会

Human Frontier Science Program

「開催趣旨」

HFSP（ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム）は、ライフサイエンス分野における革新的な国際共同研究を推進するため、1989年に創設された国際プロジェクトです。本プログラムでは、基礎的な生物機能を解明するため、広く異なった分野の専門知識を融合することに重点をおいています。研究対象とする生物機能としては、細胞構造における詳細な分子状態から、神経システム科学における複雑な相互作用にまで及びます。HFSPがサポートするフロンティアサイエンス分野には、情報生命学者や生物物理学者らの参画も次第に一定規模を占めるようになっていく中で、物理学分野からの参画もまた多く見られます。

今回の講演の中では、HFSPの共同研究グラントについて、応募申請時におこしがちな失敗や、採択されやすい事例についての説明を交えながら意見交換をします。課題解決のための様々な専門領域や科学文化による「新規性」や革新的発想を備えた研究チームが、好結果を挙げています。また、若手研究者を支援するHFSPポスドク・フェローシップについてもご紹介いたします。

日時 : 2016年11月26日（土） 11:45-12:35

場所 : 第54回日本生物物理学会年会 ランチョンセミナー C会場

演者 : Dr. Geoff RICHARDS

Director of Research Grants The International Human Frontier Science Program Organization (HFSP), Strasbourg, FRANCE

演題 : "Broadening your horizons – international collaboration in the life sciences"

説明会プログラム

11:45~11:50	開会挨拶、趣旨説明	日本医療研究開発機構 国際事業部国際連携研究課
11:50~12:00	HFSP機構の概要説明、講演者紹介	水間 英城 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 機構 事務局次長
12:05~12:25	講演	Dr. Geoff RICHARDS 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 機構 研究グラント部門部長
12:25~12:35	参加者との意見交換、質疑応答	

*ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) とは

1987年のヴェネツィア・サミットにて日本政府が提唱した国際プロジェクトで、生体が持つ精妙かつ優れた機能の解明を中心とする基礎研究を国際的に推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的としています。以下の研究グラント、フェローシップを支給しています。

- 1) プログラムグラント：独立した科学者のチームによる、生命科学分野を基礎研究とした革新的な研究プロジェクト
- 2) 若手研究者グラント：独立した研究室を与えられて5年以内、もしくは博士課程取得後10年以内の研究者から成るチーム
- 3) 長期フェローシップ：博士号取得後3年以内、海外の優れた研究機関で現在の研究分野とは別の新しい研究分野へ移ることを目指す研究者対象
- 4) 学際的フェローシップ：生命科学分野以外（物理学、化学、数学、工学等）の若手研究者が、さらに生命科学分野の研究経験を積もうとする場合

※2015年開催のHFSP説明会ポスターより 参考) <http://jhfsp.jsf.or.jp/about-us/index.html>

お問い合わせ



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

国際事業部
国際連携研究課



03-6870-2215



international@amed.go.jp